

海田町まちづくり推進委員会 議事録(要旨)

開催日時	令和5年3月27日(水) 13:30~15:00
開催場所	海田町役場4階委員会室
出席者等	<委員> (敬称略) 田 中 貴 宏 (広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授) …委員長 林 孝 (海田町教育委員会委員) 神 田 一 之 (海田町自治会連合会 会長) 川 上 一 望 (海田町公衆衛生推進協議会 会長) 中 神 裕 子 (海田町民生委員児童委員協議会 主任児童委員) 中 島 勝 義 (広島安芸商工会 会長) 武 市 浩 二 (広島地域協議会 事務局長) 天 野 博 司 (広島市立大学 理事・事務局長) 新 谷 耕 平 (学校法人幸和学園 理事長) 仙 田 勝 志 (広島銀行海田支店 支店長) 代理出席 藤本氏 <事務局等> 竹野内 啓 佑 (海田町長) 鶴 岡 靖 三 (企画部長) 丹 羽 勤 (総務部長) 森 川 雅 枝 (福祉保健部長) 森 山 真 文 (教育次長) 門 前 誠 司 (建設部次長) 石 田 順 也 (企画課長) 古 谷 旭 (企画課係長) 阿 部 夏 希 (企画課主事)
会議次第及び資料	【会議次第】 1 開会 (1) 町長挨拶 (2) 委員紹介 (3) 委員長選任 2 議事 (1) 第5次海田町総合計画及び海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度末時点の検証について (2) 交付金の効果検証等について ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況及び効果検証について ・ デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ(TYPE1)の効果検証について (3) その他 3 閉会

	【資料】 (1) 第5次海田町総合計画及び海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度末時点の検証について (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証について (3) デジタル田園都市国家構想交付金の検証等について
--	--

会 議 記 録	
事務局	1 開会 定刻には少し早いのですが皆様お揃いですので、令和5年度第1回海田町まちづくり推進委員会を開会したいと思います。それでは、開会にあたりまして、町長から御挨拶を申し上げます。
町長	(町長挨拶)
事務局	さて、本日は第1回目の委員会ですので、皆様のお手元の次第にお示ししております、委員長の選任までを事務局で進めさせていただきます。 それでは、委員長を選任する前に委員の皆様を紹介いたします。紹介にあたりましては、出席者名簿順に御紹介させていただきます。 (委員紹介) 皆様よろしくお願ひします。 続きまして、町職員及び事務局の紹介に移りますが、時間の関係上、お手元の参加者名簿において紹介に代えさせていただきます。御了承ください。 続きまして、本日、お配りをさせていただいた資料の確認をさせていただきます。本日お配りした資料は、会議次第、出席者名簿、配席表、資料1「第5次海田町総合計画及び海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度末時点の検証について」、資料2「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証について」、資料3「デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ（TYPE1）の効果検証について」、参考資料1「海田町まちづくり推進委員会要綱」、参考資料2「第5次海田町総合計画指標達成状況」、参考資料3「LINE 満足度アンケートの結果」、参考資料4「証明書発行等に関するアンケート調査（結果）」、及び広報かいた4月号の抜粋2ページとなります。 皆様お揃いでしょうか。 それでは、早速ですが、委員長の選任に入りたいと思います。参考資料1の海田町まちづくり推進委員会要綱第4条第1項におきまして、委員長は互選ということとなっておりますので、委員長の互選をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

神田委員	田中先生にお願いしたらよろしいかと思います。
事務局	ただいま委員長に田中委員という推薦がありましたが、いかがでしょうか。
一同	異議ありません。
事務局	それでは委員長には田中委員に就任いただくことになりました。よろしくお願いいたします。
一同	よろしくお願いいたします。
事務局	委員長は席の移動をお願いいたします。それでは、委員長には、席を移動後、以後の進行をお願いいたします。
田中委員長	改めまして皆様よろしくお願いいたします。 まちづくり推進委員会では海田町のまちづくり全体を扱うということで、その役割は非常に大きいと思います。この委員会が円滑に進むよう努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは早速ですが議事に入りたいと思います。次第を御覧いただければと思いますが、本日は3つの議事が並んでおります。「第5次海田町総合計画及び海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度末時点の検証について」、「交付金の効果検証等について」、最後に「その他」です。 それでは、「第5次海田町総合計画等の令和4年度末時点の検証について」の説明を事務局からお願いします。
事務局	(資料の説明) また、本日御欠席の今川委員から御意見をいただいておりますので、この場で御紹介させていただきます。 3点ございまして、1点目は成果指標・行動指標の検証を通じて適切に事業を進めていただきたいということ。2点目が、海田で育まれてきた文化・歴史が失われないようなまちづくりを意識してほしいということ。3点目が、町内団体の活動に対して助成金を出すなど、活性化に向けた検討をしてみてもどうかという御提言。この3点を御意見としていただきました。以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。
田中委員長	はい、ありがとうございました。ただ今、事務局の方から総合計画等の検証について説明をいただきました。これについて、意見交換を行っていきたいと思います。意見交換にあたりましては各委員の皆様の御専門や御立場からのアイディア、御意見、情報提供等、幅広くお聞きできたらと思います。それでは御意見をいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。
新谷委員	御説明ありがとうございました。参考資料2の数字に対する質問をよろしいでしょうか。 第一章に掲げられている「子どもの健やかな育ちを支えるまちづくり」について、まずこの内容が第一章に掲げられていること自体素晴らしいなと思いました。その(1)子育て支援の充実の令和3年度と令和4年度の実績が知りたいのと、目標値について、

	保育サービスに関する満足度の目標値が75%以上、子育て支援に関する満足度が85%以上、児童館の児童クラブに関する満足度が81%以上を令和7年の時点で目指すというところで、この数字の差の理由を教えてください。 児童館・児童クラブに関する満足度は保護者の満足度だと思いますが、保護者の満足度と、実際に利用している子どもたちの満足度は違うと思いますので、子どもの満足度を参考程度に取ってみても、保護者と子どもの満足度の違いがわかって良い参考になると思いました。 それから「学校教育の充実」について不登校児童生徒の割合という項目があります。できるだけ不登校の子どもを減らしたいという目標だとは思いますが、不登校の子どもがいない方が良いということが前提にあると、不登校の子自身がネガティブな存在になり、そうするとその保護者もネガティブな存在になるという見方になりかねないので、不登校児童生徒の割合を数値化するというのがどうなのかと思いました。 それと預かり保育利用者数の項目について、延べ人数だと思いますが、年間で1,2歳の未就園の子が3万人近く利用しているというのは、国も積極的に補助金等でサポートしていて、それが数字にも表れていて素晴らしいと思いました。以上です。
田中委員長	ありがとうございます。子育てや教育についていくつかいただきましたが、いかがでしょうか？
福祉保健部長	まず、子育て支援の充実の各満足度の差は、現在海田町で作成している子ども・子育て支援事業計画第2期の結果に基づいてこの目標を立てているためです。 アンケートについて、現在、第3期に向けたアンケート調査を終えたので、その辺りを今後反映していきます。 また、このアンケートは、未就学児の保護者、それから小学校6年生までの全保護者に調査をした結果になっております。子どもの意見について、確かにこれまでアンケートやヒアリングをしたことはありませんが、こども家庭庁でこども大綱が制定されました、海田町でも第3期の計画に反映させて取り組む予定です。子どもたちの意見をどのように集めて計画や政策に反映させていくかについては、福祉保健部で検討中でございますので、全体計画の中にも反映できるように連携していきたいと思います。 それから預かり保育の3万人という数字について、これは町内の事業者さんの御協力があった制度でございます。また、これは保育園、認定子ども園、幼稚園の利用も入っています。保護者が就業していなくても、リフレッシュしたい時、子育てに少し不安を抱えている時に利用していただける制度ですので、その御家庭の状況にあわせて利用できるように、これからも計画の中に入れていく予定になっております。
教育次長	学校教育のところで、不登校児童生徒の数値をネガティブなものとして捉えられがちで、ここに数値目標として掲げるのはどうかということでございます。 これについては、文部科学省が生徒指導上の諸課題として暴力行為、不登校、いじめの3項目を大きく挙げており、毎年調査を行っています。不登校についてですが、ここ数年コロナの影響で、家庭で過ごす時間が増え、昼夜逆転をしている子どもが増えています。それから最近の新聞で、不登校の要因について、学校の先生が思う理由と子ども

	自身が思う理由に隔たりがあり、学校が子どもの実態を把握することが難しい状況にあるという記事が出ていました。 ネガティブという部分でいくと、確かに学校へ行くことが良いという前提で、このような数字を改善目標として立てているのですが、良い悪いという二極ではなく、子どもたちの今の状況を改善し、満足感を得て、学校や社会とのつながりを作っていくことが大前提にありますので、海田町においては、例えばフリースクールのような適応指導教室であったり、教室に上がらなくてもその子どもたちが自分の好きなことを目標に立ててやるような教室を作ったりすることで、この数値が一定程度改善することを目的に考えていくという指標として使っています。ですので、該当の子どもたち本人や保護者がマイナスのイメージを持たないよう、学校とも取り組みながら進めている状況です。
企画部長	ただ今御意見をいただいた資料の2について、令和3年度・令和4年度の実績の数値が入ってないところはいくつかあります。主に満足度のところが入っていないのですが、まず基準値の数値は、総合計画策定の際に事前に行った町民アンケートの満足度の結果です。アンケートは毎年度ではなく、5年ごとに後期計画という次の計画策定を行うタイミングで実施するため、令和3年度・令和4年度が入っておりません。令和元年度に調べた数値が基準値として1番左に書いてあり、それから5年間まちづくりを進めてどれくらい満足度が上がるかというところですが、その目標値は、個々の事業の取り組みに応じて、どの程度上げていきたいかという思いを踏まえて設定しています。次の満足度の調査は来年度行う予定ですので、その結果を踏まえて総合計画の後期計画の目標設定につなげてまいります。 その他の項目でも実績数値が入ってないところもありますが、色々御意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。
田中委員長	はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
中神委員	先ほど、子どもたちの思いをしっかりと捉えていくと言われたことについて、本当に良いことだと思います。今朝の新聞で、町長さんが、海田東小学校の校舎建替に伴って、子どもたちの御意見を色々聞いておられるという記事を読みました。前にもタウンミーティングのような形で給食を一緒に食べられたり、そういう風に子どもたちの考えをしっかりと聞いてもらえると、本人たちの町への愛着につながっていくのではないかと思います。たとえ将来海田町から出ることがあっても、町のこのことは僕たちの考えたことがつながっているのだということがあれば、いずれ戻ってきたり、この町のために頑張っていこうという気持ちになるのではないかと思います。子どもの言うことだから、ではなくて、子どもだからこそ柔軟な考えができると捉えれば、夢みtainな話でも少しでも何かにつながるようなことが出てくるのではないかと思いますので、子どもの思いをしっかりと捉えていくということは私も良いことだと思います。
福祉保健部長	ありがとうございます。 この総合計画と、その下の計画である子ども・子育て支援事業計画の中で、この4月以降で計画をしまして、子どもたちのどの世代にも幅広く聞ける方法について今担当課の方で協議しておりますので、しっかりと取り組んでまいります。ありがとうございます。

	す。
町長	早速新聞を読んでいただいております。 私の個人的な考えではありますが、まちづくりというのは行政だけではありません、全町民と一致団結して取り組んでいくことが、この町にとって良いことだと思っています。その中で、今まで大人だけで取り組んできたまちづくりに、子どもの視点も取り入れながら、全世代がこの町に住んで良かったと思えるように、先ほど委員が言われておりましたように、1回出てもいつか帰ってきたいと思えるような、愛着や誇りを持ってシビックプライドを育めるようなまちづくりを進めていきたいという思いがあり、ランチミーティング等開催させていただいたところです。今後も色々な属性、世代の方と御意見交換する中で、本町にとってより良いまちづくりが何なのかという大きなテーマを設定しながら考えていきたいと思っています。
田中委員長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
川上委員	公衛協の川上です。第5次計画を作る段階から参加しています。 その時にも言えば良かったのですが、公衛協は海田町の災害に強いまちづくりのためにあらゆる応援をしています。それで、この度、議会でも質問されたようですが、私たちは災害井戸の共助利用に向けた取り組みをしています。これは災害時、水道水が破裂して使えなくなった際に使える家庭の井戸を登録しておくという取り組みです。広島県内公衛協の7団体が取り組んでおりまして、近くで言えば府中町さんがあります。去年の4月1日から公衛協の中でプロジェクトを作りまして、学校区4区の中からメンバーを出して井戸を登録していこうと進めています。 協力してくれた人に登録許可証を出すという形で進めていますが、調べたところ、井戸を持つ家庭はけっこうあるのですが、埋め込みで全部蓋がされています。ただ、そういう状態でも提供してくださいとしています。今31か所を登録して、その家庭には「協力井戸の家」という看板や、利用できる印をつけていこうと思います。取り組みの広報も行っていて、まず広報かいたと公衛協だよりで告知をしました。またこの3月にNHKの夜6時10分からの好みワイドひろしまで紹介してもらったのと、中国新聞にも取り上げられました。それから、31か所の井戸マップを作っており、いずれ役場の方にも持っていこうと思います。 この活動は半永久的に続けていき、目標としては100か所登録を目指しています。現在の場所は海田小学校区の旧役場周辺と畝地区がほとんどなので、来年以降は三迫の方を押し上げていきたいと思っています。こういう形で井戸を提供していただき、災害が起きた時にはそれを活用できるよう、自治会の方にも案内してという活動をしておりますので、御理解御協力のほどよろしくお願いします。
田中委員長	はい、ありがとうございました。
総務部長	防災の事なので私の方から、総務部長をしております丹羽と申します。 公衛協の皆さんには本当にいつも御協力いただきまして、ありがとうございます。先ほど会長が言われたように、一般質問で、それぞれの避難所に井戸を掘ってはどうかと

	いう質問があり、公衛協さんが今こういう取り組みをしておられるので、そちらの方を広報し、活用していきたいと答弁させていただいております。 公共が井戸を掘って、そこをずっと管理できればいいのですが、なかなか目が行き届かず管理が非常に難しいため、日頃から井戸を使われている家庭の皆さんに管理していただき、いつも良い状態で水を活用できるというのが災害時には1番助かるのではないかと考えています。町としてもこの取り組みを広報してまいりたいと思っておりますので、100を目指して、ぜひとも頑張りたいと思います。ありがとうございます。
田中委員長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
武市委員	すいません、1件だけ確認させてもらいたいのですが、今労働団体の中で来年度の政策・制度要求を募集しています。その中で、子どもの医療費無償化というのが随分声が上がっています。 子ども医療費は広島市を中心にして、近隣の市町と比べると制度の差があって、年齢制限を設けず助成を行う隣の府中町の人口は確かに増えてきています。逆に遅れていた広島市も年収制限を設ける形で助成幅の拡大に動き出したところで、少しずつ増える傾向になっています。コロナの4年間で各家庭の経済が痛んでいる中で、子どもの医療費というのは負担が大きく、子育て支援の中でも医療費の無償化を市町に考えてもらえないかということが随分言われております。今回の内容に医療費については入っていませんが、今後に向けてその辺りも御検討いただけたらと思っております。以上です。
福祉保健部長	はい、ありがとうございます。海田町では子どもの通院医療費の助成を今年の1月から中学校3年生までに拡大したところでございます。 確かに委員が言われたように、広島県内でも町によってばらつきがあり、全国でもばらつきがある状況でございます。その中で、海田町についてはこの1月から拡大したばかりですので、今後はその拡大した状況を検証しながら検討していく予定です。それ以外につきましても、先ほど委員からもありました保育事業や、かいた版ネウボラ事業等、幅広く子どもの施策について取り組んでおりますので、総合的に判断してまいりたいと思います。
田中委員長	よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。他はいかがでしょう。
林委員	今年1月1日、大きな地震があって、その中で海田町の方で計画にないものを見直したということはあるですか。 例えば、昭和中町では実際に液状化が起きています。そういったことについて、手立ての検討をされているのか、この計画に新たに追加しなくてはいけないことを検討しているのかどうか、そういったことがあれば教えていただけたらと思います。
総務部長	ありがとうございます。能登半島地震においてインフラは崩壊し、1番の課題がトイレだとも言われているので海田町としてもその辺りを強化していかなければならないところです。現在、全国の防災計画や広島県防災計画の見直しがされてきておりますので、町としても、現在の備蓄数量や避難所の安全性について検証していかなければなら

	ないところでございます。 すぐに今これをこうするというものは出てきておりませんが、能登半島地震発生後、いまだにトイレも復旧していないような状況ですので、それを教訓に、実際の災害時に仮設トイレが本当に準備できるのか、広域であった場合、誰が応援に来てくれるのか、そういったところも含めて防災計画を見直したいと考えております。この見直しは、5月に防災会議を開いて改定する予定なので、そういったことを踏まえて盛り込んでまいります。今具体的にこれをこうしたというのはないのですが、そこは含めて考えさせていただきます。ありがとうございます。
林委員	物事が進んでいる状況が伝わってきたので、嬉しいです。以上です。
田中委員長	ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。 よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。 次の見直しに向けたお話が色々伺えたと思っています。特に教育・子育てと防災、この辺りは委員の皆様も、おそらく町民の皆様も御関心があるところだと思いますので、次に向けた参考にしていただきたいと思います。特にお子さんの話を直接伺う等、具体的なお話もいくつかいただけたと思いますので、次回に向けて動いていただけると良いと思います。ありがとうございました。 それでは次の議題に参ります。説明をお願いいたします。
事務局	(資料の説明)
田中委員長	はい、ありがとうございます。ただ今説明していただきましたが、それにつきまして皆様から御意見御質問等ございましたらお伺いいたします。いかがでしょうか。 私の方から1点質問よろしいでしょうか。2つ目のデジタル田園都市国家構想交付金の方ですが、御説明の中でGISへのアクセス数が苦戦されているというお話がありましたが、これは他の市町の同様のシステムと比べても厳しいのですか？
建設部次長	確かに、御指摘のとおりこちらは実績で165件と目標値に対しては低い状況ですが、ここのシステムはかいたひまナビというサイトの一部でございます。サイト全体では、都市計画情報や道路状況、いわゆる道路台帳、あとはレッド・イエローゾーンの情報が、大体1週間に100件から200件ほどのアクセスがございます。ここで挙げているのは、その中の土木施設の維持管理情報ということで、道路のここが一部へこんでいる等の要望ができる機能です。こちらはまだまだ周知が必要ですが、直接電話で御連絡いただかなくても、タイムリーに情報提供していただけますので、他市の状況はわかりませんが、今後PRして広めてまいりたいと思っております。
田中委員長	はい、ありがとうございます。 GIS関係のシステムの閲覧が伸びないという話は、他の市町の方からもお伺いするので、海田町というより、このGISシステムそのものの課題としてもあるのかなと思ってお聞きしました。 その他いかがでしょうか。
新谷委員	本日はありがとうございました。

	資料 2 の 21 番，出産育児給付事業について，令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 12 月 31 日までに生まれた子どもに対し 3 万円を給付されたということですが，これは令和 5 年 1 月 1 日以降出生の方には給付はされなかったということでしょうか。
福祉保健部長	はい，こちらはこの期間に限定しておりました。
新谷委員	それは仕方ないですね。はい，ありがとうございます。
田中委員長	その他，いかがでしょうか。
新谷委員	もう 1 つ良いのでしょうか。ここには書いてないのですが，コロナ対策ということで海田町や周辺市町が色々な施策をしている中で，保育園に関して，保育士の先生に直接 10 万円給付するという町もあれば，ない町もあり，色々差がありました。当園でも，うちは出ないのですかと聞かれたりもしました。ですので，もし可能であれば，そういう話があったときに少なくとも府中町，坂町，広島市辺りとは連携を図ってもらえるとありがたいです。施設に対しての例えば物価高騰対策でというものであれば，調整ができるので良いのですが，保育士に直接となると，ではその分をうちは賞与に乘せようかといったことしかできないので。統一されていればもらった方も気持ち良いと思いました。以上です。
福祉保健部長	確かに，コロナが始まりまして，町ごとに施策を打つのですが，最近では海田の保育園に広島市の方が通われたりもするので，各所で差があってはいけないと，近隣で統一化を図っております。ただ，コロナの最初の頃は，海田町は実施しなかったのですが，近隣の 2 町さんで保育士への給付がありました。国の方で介護の現場に給付する制度があったのですが，保育の方では無かったという差異もあり，御不安の声も町には届いてはいましたが，別の形で海田町としてもさせていただきました。今後そういった差がないような形で取り組んでまいります。
田中委員長	ありがとうございます。その他はいかがでしょう。よろしいでしょうか。 それでは，こちらも町の取り組みに活かしていただければと思います。ありがとうございます。 それでは，これで議事 2 つ目を終了します。最後に（3）その他について，事務局から説明をお願いいたします。
事務局	（資料の説明）
田中委員長	はい，ありがとうございます。 町の組織体制が変わるというお話と，令和 6 年度の事業について御説明いただきましたが，こちらにつきまして何かございますか。 それでは，特に御意見等ないようですので，以上となります。これで本日の議事 3 つ終了いたしました。 続いて事務局の方から連絡事項等何かありますか。
事務局	本日はお忙しい中お集まりいただき，また率直な御意見をいただきまして，誠にあり

	がとうございます。本日いただいた御意見は、町で取りまとめて参考にさせていただきながら、今後に活かしてまいります。事務局からは以上です。
田中委員長	はい、ありがとうございました。それでは本日の委員会はこちらで終了いたします。ありがとうございました。